



FY2019

Presentation material

February 14 , 2020 



Contents

1.	2019年12月期決算概要	02
2.	2020-21年の重点施策	10
3.	2020年12月期業績見通し	19
4.	ご参考	24

Appendix 会社概要、売上区分

Contents

1. 2019年12月期決算概要

2. 2020-21年の重点施策

3. 2020年12月期業績見通し

4. ご参考

Appendix 会社概要、売上区分

3期連続の増収増益、売上収益、営業利益とも過去最高

（百万円）	FY2019	FY2018	増減額	増減率
売上収益	22,586	21,285	+1,301	+6.1%
営業利益	4,525	4,115	+411	+10.0%
税引前利益	4,486	4,105	+380	+9.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,093	2,656	+437	+16.5%
基本的 1 株当たり当期利益	35.40円	30.36円*	-	-

* 2018年4月1日効力発生の株式分割（1:2）が、2018年12月期の期首に行われたと仮定し算定しています

プラットフォーム基本がユーザー増により伸長、アプリケーション業種別も好調

(百万円)	FY2019	FY2018	増減額	増減率
プラットフォーム	10,192	9,543	+649	+6.8%
基本	7,654	7,175	+479	+6.7%
EDI・決済	920	935	-16	-1.7%
サポート	1,478	1,314	+164	+12.5%
その他	140	118	+22	+18.4%
アプリケーション	12,394	11,742	+652	+5.6%
業種別	10,448	10,173	+275	+2.7%
OTRS	338	391	-53	-13.5%
その他	1,608	1,178	+430	+36.5%
合計	22,586	21,285	+1,301	+6.1%

アプリケーション販売の好調を反映、保守契約率も向上、PSFは市場要因で苦戦

(百万円)	FY2019	FY2018	増減額	増減率
基本	7,654	7,175	+479	+6.7%
PaaS/SaaS	5,542	5,206	+336	+6.5%
一括	2,735	2,464	+270	+11.0%
月額	2,807	2,742	+66	+2.4%
IaaS	2,113	1,970	+143	+7.3%
EDI・決済	920	935	-16	-1.7%
PSF *	603	634	-31	-4.9%
BLP/CPT *	317	301	+16	+5.2%
サポート	1,478	1,314	+164	+12.5%
保守	708	601	+107	+17.8%
サプライ品	770	713	+57	+8.0%
その他	140	118	+22	+18.4%
合計	10,192	9,543	+649	+6.8%

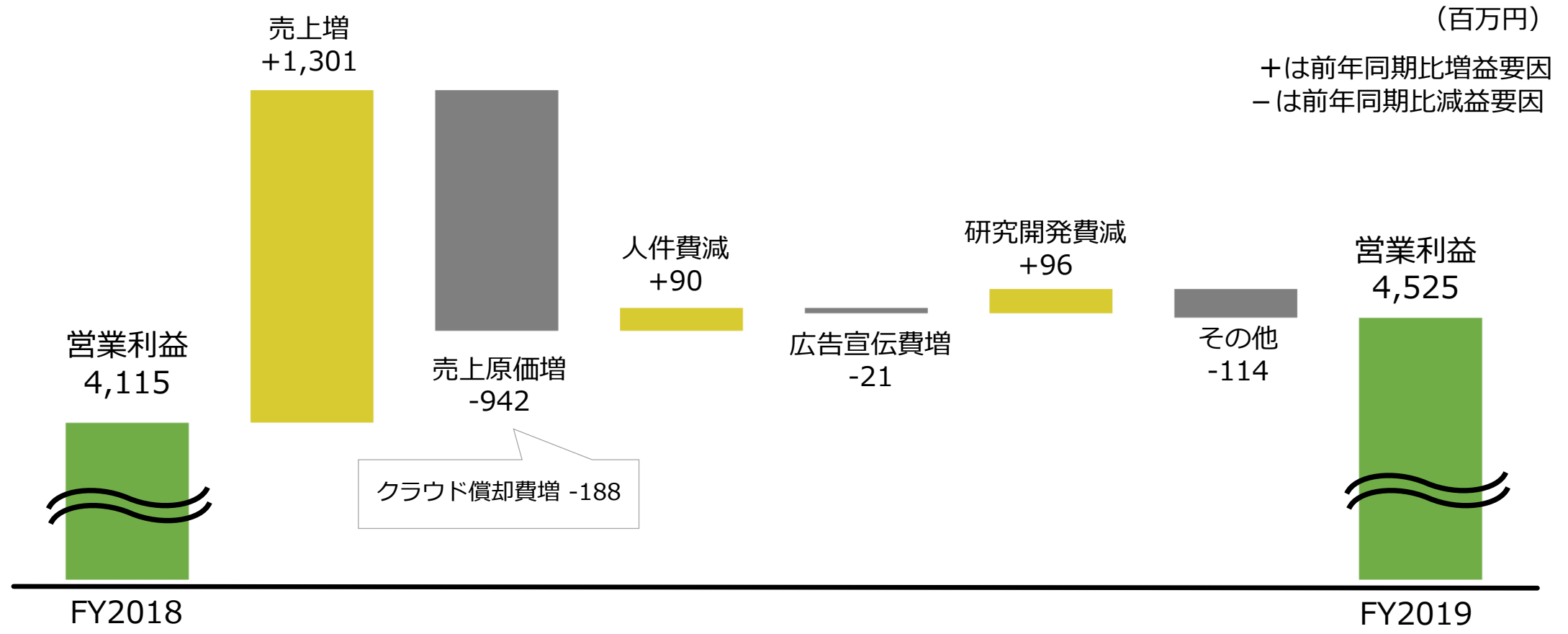
* [PSF] 自動車リサイクル部品取引ネットワークでの決済代行手数料 [BLP] BLパーツオーダーシステムの利用料 [CPT] CarpodTab利用料

自動車系中心に新規顧客の獲得が好調、OTRSはマクロ要因で苦戦

(百万円)	FY2019	FY2018	増減額	増減率
業種別	10,448	10,173	+275	+2.7%
自動車系	8,874	8,757	+117	+1.3%
非自動車系	1,574	1,416	+157	+11.1%
OTRS	338	391	-53	-13.5%
その他	1,608	1,178	+430	+36.5%
アプリケーション合計	12,394	11,742	+652	+5.6%

営業利益の増減内訳（連結・IFRS）

大幅増収によりクラウド償却費の負担増加を吸収



クラウド開発投資により無形資産が増加

(百万円)	FY2019	FY2018	増減額	主な増減要因
流動資産	7,987	10,619	-2,632	現金及び現金同等物の減少 -2,593
非流動資産	23,702	18,794	+4,907	有形固定資産の増加 +1,584 無形資産の増加 +2,264
資産合計	31,689	29,413	+2,276	
流動負債	7,100	7,913	-813	未払法人所得税の減少 -349
非流動負債	1,369	466	+903	長期有利子負債の増加 +849
負債合計	8,469	8,379	+89	
資本合計	23,220	21,033	+2,186	当期利益の計上 +3,093 配当支払いによる減少 -1,136
負債及び資本合計	31,689	29,413	+2,276	

クラウド開発など成長投資を積極化

（百万円）	FY2019	FY2018	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	3,762	4,566	-804	法人所得税等の支払額の増加 -735
投資活動によるCF	-3,990	-2,496	-1,494	無形資産の取得による支出の増加 -866 投資の取得による支出の増加 -994
財務活動によるCF	-2,366	-2,409	+43	-
フリーCF	-228	2,070	-2,298	-
現金及び現金同等物	3,034	5,627	-2,593	-

Contents

1. 2019年12月期決算概要

2. 2020-21年の重点施策

3. 2020年12月期業績見通し

4. ご参考

Appendix 会社概要、売上区分

CASEがもたらす「車の進化」や「車利用の多様化」により整備需要が増加する見込みであり
ブロードリーフにとって成長機会になると捉えている

マクロ環境の変化

車の進化

車利用の多様化

生産年齢人口の減少



カーアフター産業の変化

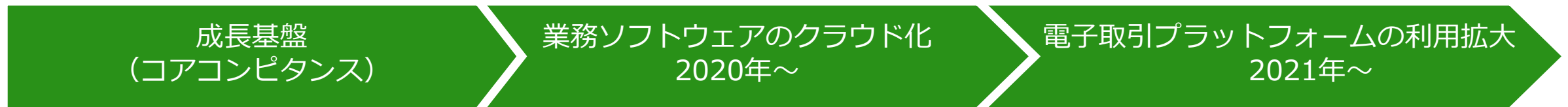
補修部品の取引量が増加

- センサー類の増加「点検箇所の増加」と「点検頻度の増加」
- 法人車両の増加「車検の頻度が倍増」
- 稼働率の上昇「消耗部品の交換が激増」
- 個人保有台数の減少

投資の積極化

- 人材確保の負担が増加「生産性向上のためのIT積極活用」
- 統合による整備工場の減少

クラウド化をトリガーとして整備事業者のさらなるユーザー増を図り
補修部品市場における当社電子取引プラットフォームの利用拡大につなげる



顧客基盤



ソフトウェア



データベース



クラウド化



ユーザー増 (整備)



整備事業者

Buy

電子取引プラットフォーム

Sell

Sell



部品商社



リサイクル部品業者

補修部品市場

電子取引プラットフォームの利用拡大のため、国内カーアフター領域でのクラウド浸透を推進
さらにMaaS等の新領域へも積極展開していく

重点施策





カーアフター産業領域

- 施策 1 セグメント別（整備）の戦略的な商品展開
- 施策 2 3rd パーティープログラムの戦略的な導入
- 施策 3 クラウドの戦略的な市場投入

MaaS等の新領域

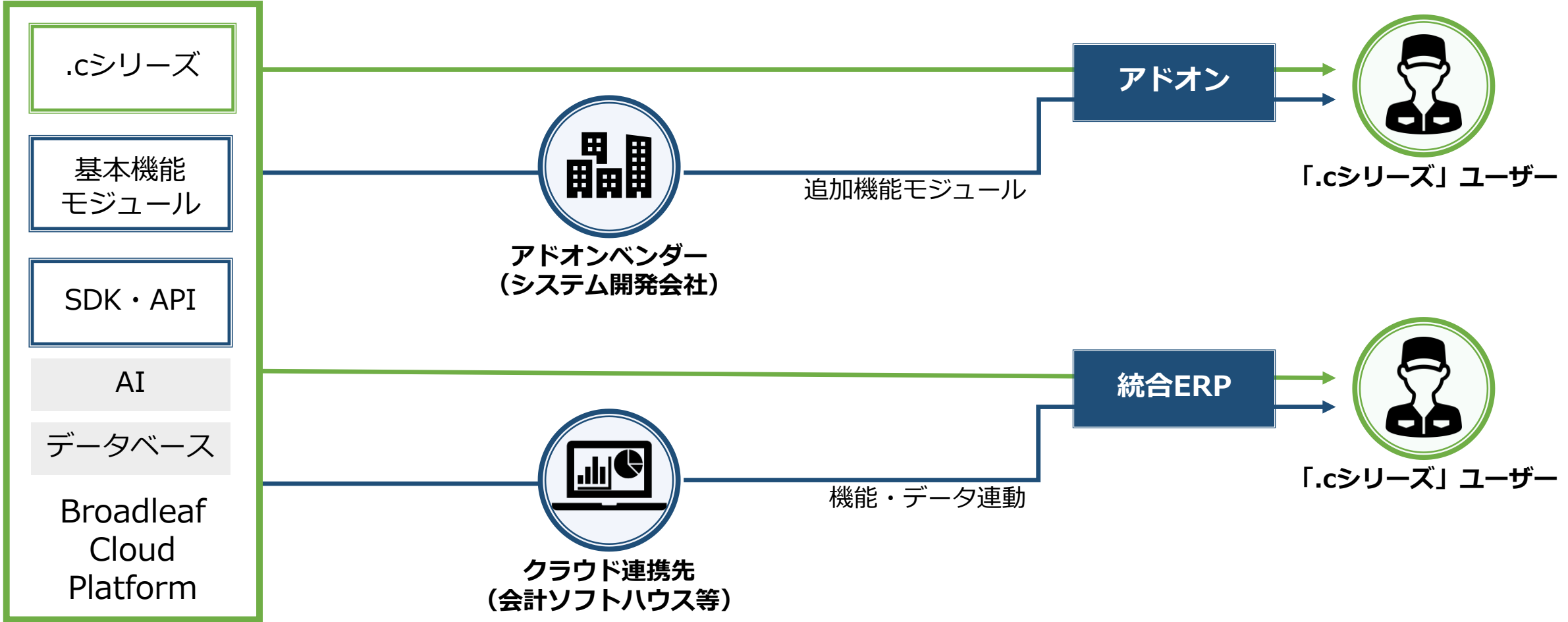
- 施策 4 「Broadleaf Cloud Platform」のグローバル展開

電子取引プラットフォームの早期浸透のため、クラウド商品によるユーザー拡大を図ると同時に既存商品も継続販売することでトップラインを確保する

セグメント（整備）		商品	販売
車検チェーン等	【ID数】 3,000（社）×10～（人）	 アドバンス版のクラウド業務ソフトウェア（.c）	個別ニーズにアドオンで対応
整備工場 （ソフトウェア未導入）	【ID数】 ～10,000（社）×1（人）	 ベーシック版のクラウド業務ソフトウェア（.c）	オンラインセールスに特化
ガソリンスタンド （SS）	【ID数】 ～30,000（店）×1（人）	 SS版のクラウド業務ソフトウェア（.c）	油元など大手にアプローチ
大・中規模整備工場	【ライセンス数*】 50,000（社）×1.5（拠点）	 クライアントサーバー型の既存業務ソフトウェア（.NS）	他社リプレイスにも注力

* 最長6年の利用権

アドオンベンダーによる追加機能モジュールの開発が容易になることに加え
クラウド会計ソフトや経営管理ツールなどとの連携により統合ERPとして提供する

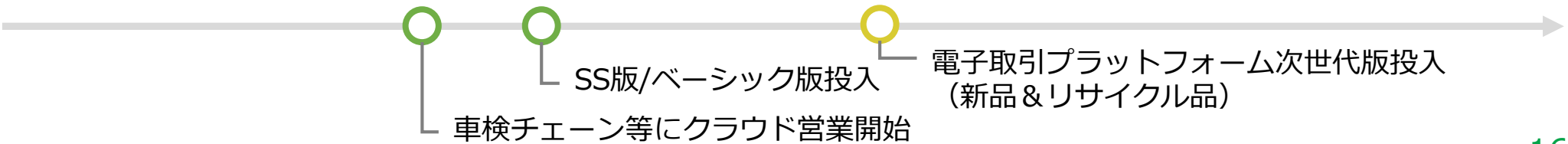


施策3 クラウドの戦略的な市場投入

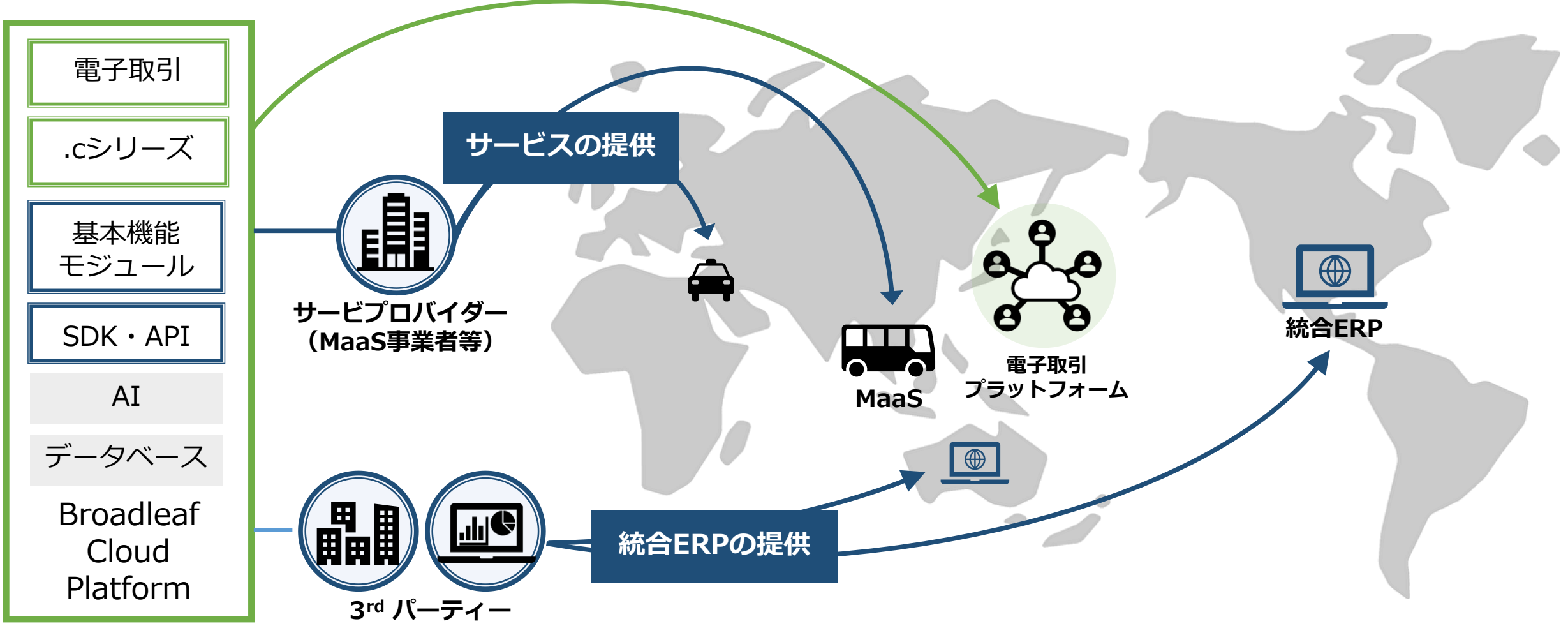
電子取引プラットフォームの早期浸透を図るため、複数商品を同時に市場投入する



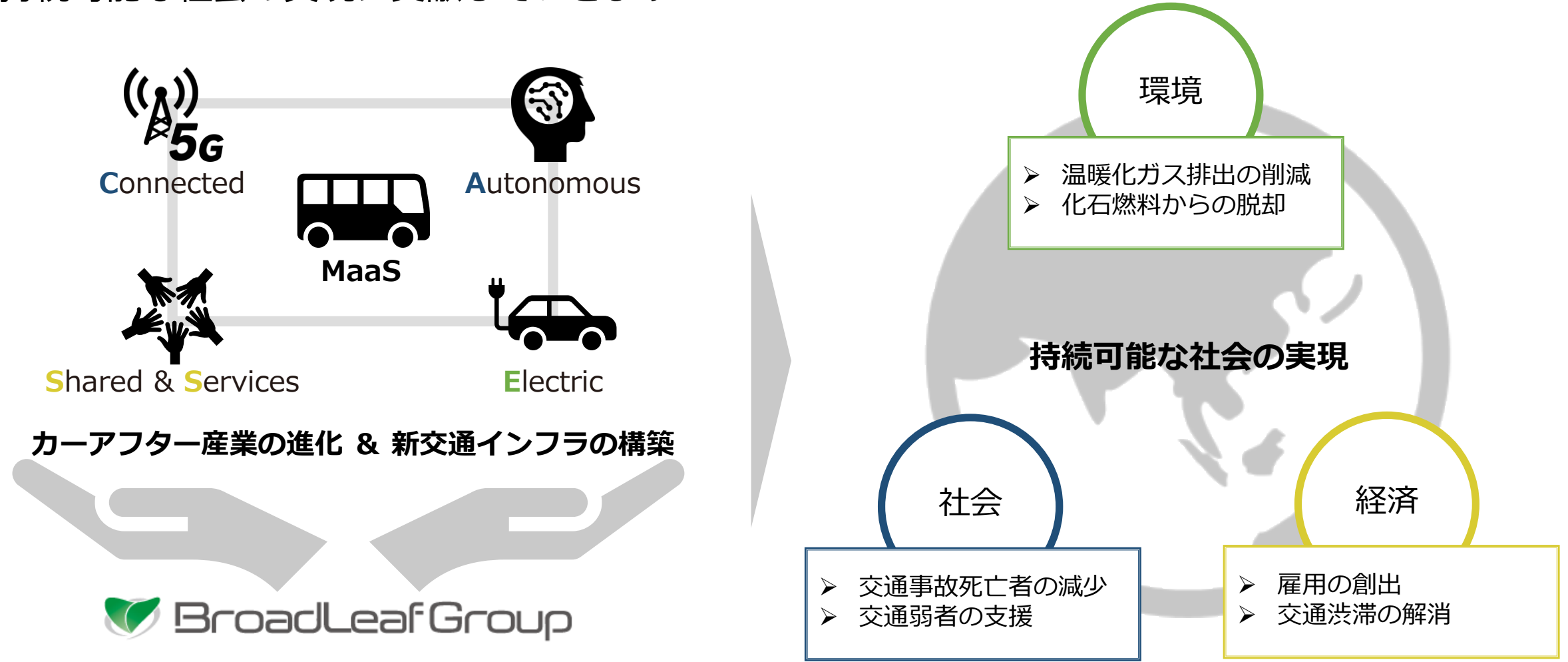
※外部環境によりスケジュールを変更する可能性があります



国内カーアフター領域での電子取引プラットフォームの利用を拡大するとともに MaaS事業者等のサービスプロバイダーを通じたグローバル展開にも注力する



ブロードリーフグループはカーアフター産業の進化や新交通インフラの構築を支援することにより持続可能な社会の実現に貢献していきます



Contents

1. 2019年12月期決算概要

2. 2020-21年の重点施策

3. 2020年12月期業績見通し

4. ご参考

Appendix 会社概要、売上区分

重点施策の実行により4期連続での増収増益を見込む

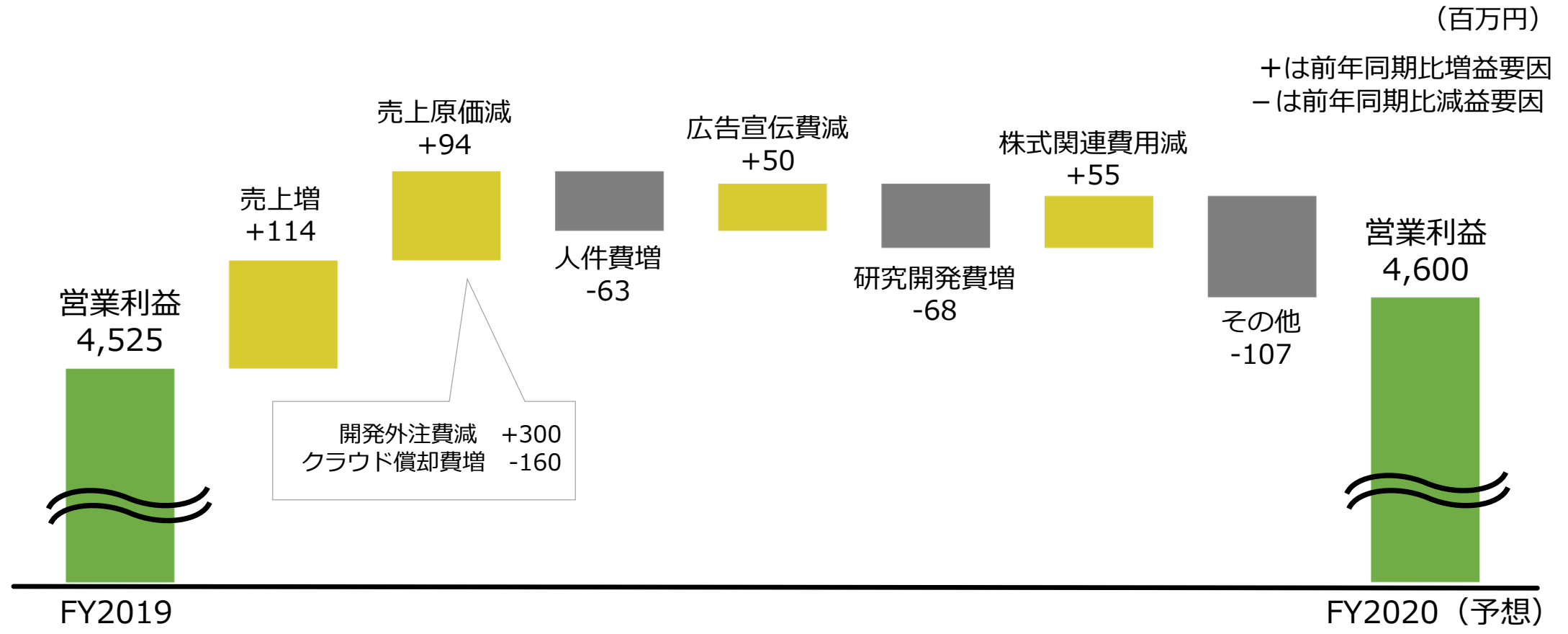
(百万円)	FY2020	FY2019	増減額	増減率	FY2020	FY2019	増減額	増減率
	通期	通期			上期	上期		
売上収益	22,700	22,586	+114	+0.5%	11,200	11,072	+128	+1.2%
営業利益	4,600	4,525	+75	+1.7%	2,000	2,080	-80	-3.8%
税引前利益	4,600	4,486	+114	+2.6%	2,000	2,075	-75	-3.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,100	3,093	+7	+0.2%	1,300	1,361	-61	-4.5%
基本的 1株当たり当期利益	35.46円	35.40円	-	-	14.87円	15.59円	-	-

プラットフォームでの月額課金の積み上げにより増収を見込む

(百万円)	FY2020 通期	FY2019 通期	増減額	増減率	FY2020 上期	FY2019 上期	増減額	増減率
プラットフォーム	10,500	10,192	+308	+3.0%	5,150	4,948	+202	+4.1%
基本	7,850	7,654	+196	+2.6%	3,850	3,717	+133	+3.6%
EDI・決済	950	920	+30	+3.3%	450	455	-5	-1.0%
サポート	1,500	1,478	+22	+1.5%	750	706	+44	+6.2%
その他	200	140	+60	+42.6%	100	70	+30	+42.5%
アプリケーション	12,200	12,394	-194	-1.6%	6,050	6,123	-73	-1.2%
業種別	10,000	10,448	-448	-4.3%	4,850	5,173	-323	-6.2%
OTRS	350	338	+12	+3.6%	150	208	-58	-27.7%
その他	1,850	1,608	+242	+15.1%	1,050	743	+307	+41.4%
合計	22,700	22,586	+114	+0.5%	11,200	11,072	+128	+1.2%

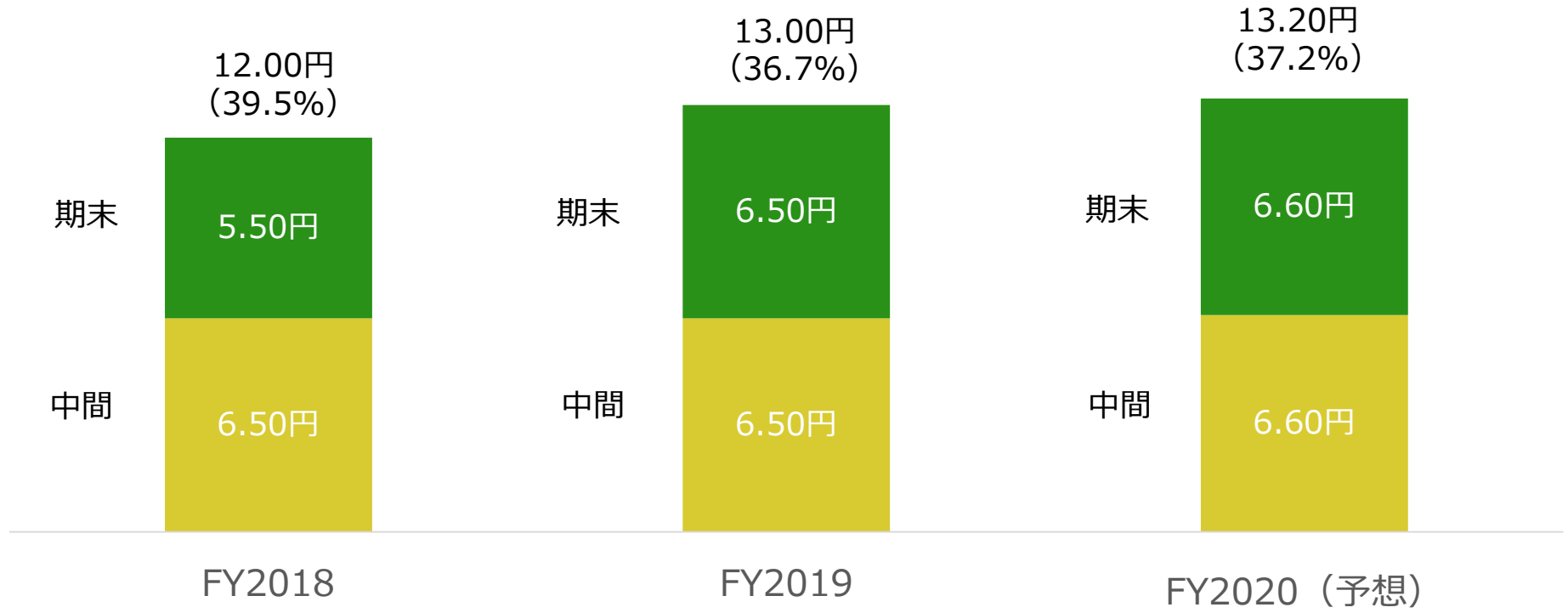
営業利益の増減内訳（連結・IFRS）

クラウド償却費増や人件費増を経費のコントロールにより吸収し増益を見込む



1株当たり配当

2019年12月期の期末配当は、予想通り6.50円（通期13.00円）
2020年12月期の通期配当は、13.20円（中間6.60円、期末6.60円）に増配予定とする



(カッコ内) は配当性向

Contents

1. 2019年12月期決算概要
2. 2020-21年の重点施策
3. 2020年12月期業績見通し

4. ご参考

Appendix 会社概要、売上区分

➤ 社外取締役候補者（新任）

高田 坦史（たかだ ひろし）

1969年4月 トヨタ自動車販売株式会社（現トヨタ自動車株式会社）入社

1995年1月 トヨタ自動車株式会社宣伝部長

2001年6月 トヨタ自動車株式会社取締役（トヨペット店営業本部、商品企画部、VVC、DUO車両部担当）

2003年6月 トヨタ自動車株式会社常務役員（トヨペット店営業本部、アフターマーケット本部、DUO車両部担当）

2005年6月 トヨタ自動車株式会社専務取締役（グローバル企画本部、商品企画部等担当）

2009年6月 トヨタアドミニスタ株式会社（現トヨタモビリティ東京株式会社）

代表取締役会長

2009年6月 株式会社トヨタ名古屋教育センター会長

2009年10月 株式会社トヨタマーケティングジャパン（現トヨタ自動車株式会社）

代表取締役社長

2009年12月 株式会社トヨタモーターセールス&マーケティング（現トヨタ自動車株式会社）

代表取締役社長

2012年7月 独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長

2013年5月 一般社団法人全日本シーエム放送連盟（現一般社団法人ACC(All Japan Confederation of Creativity)）

理事長（現任）

2019年7月 一般社団法人日本中小企業経営支援専門家協会（JPBM）理事長（現任）

➤ 社外取締役候補者（新任）

伊串 久美子（いぐし くみこ）

2000年10月 デロイトトーマツコンサルティング株式会社
（現デロイトトーマツ・コンサルティング合同会社）
テレコム&メディア事業部マネジャー

2003年1月 日本ビューレット・パッカー株式会社戦略企画部門マネジャー

2003年9月 同社経営企画室渉外部部長兼日本代表ロビイスト

2006年6月 エーオンホールディングスジャパン株式会社
経営企画部門長兼新規事業開発部長
エーオンリスクサービスジャパン株式会社営業市場開発部長
エーオンコンサルティングジャパン株式会社
HRコンサルティング・ディレクター

2009年6月 ハーバード大学公共政策大学院行政学修士号（MPA）取得

2011年9月 日本アイ・ビー・エム株式会社
グローバル・ビジネス・サービス事業戦略・市場開発部長

2012年7月 同社グローバル・ビジネス・サービス事業コンサルティング部門
アソシエイト・パートナー

2014年9月 株式会社霞ヶ関総合研究所設立代表取締役社長（CEO兼COO）

2015年11月 株式会社USEN社外取締役

2016年4月 株式会社アマガサ社外取締役

2017年7月 株式会社USEN-NEXT HOLDINGS社外取締役（現任）

2018年7月 株式会社ビジョナリーホールディングス社外取締役（現任）

田中 里沙（たなか りさ）

1993年4月 株式会社宣伝会議入社

2001年2月 同社取締役編集長

2010年8月 公益社団法人日本鉄道広告協会理事（現任）

2011年3月 株式会社宣伝会議取締役副社長兼編集室長

2012年4月 事業構想大学院大学教授

2014年4月 株式会社宣伝会議取締役副社長兼編集室長

2014年6月 日本郵便株式会社社外取締役（現任）

2016年4月 事業構想大学院大学学長（現任）
株式会社宣伝会議取締役メディア・情報統括（現任）

2018年7月 第32次地方制度調査会委員（現任）

2019年1月 中央環境審議会委員（現任）

2019年2月 社会資本整備審議会・交通政策審議会委員（現任）
財政等審議会委員（現任）

➤ 監査役候補者（新任）

平澤 謙二（ひらさわ けんじ）

1975年4月 大同生命保険相互会社（現大同生命保険株式会社）入社
1998年4月 同社損保事業開発部部長
1999年4月 同社不動産部長
2005年4月 同社業務監査部長
2010年6月 T & Dコンファーム株式会社取締役
2012年6月 T & D情報システム株式会社監査役
2015年4月 当社内部監査室室長（現任）
2016年3月 当社補欠監査役（現任）

➤ 社外監査役候補者（新任）

尾崎 英外（おざき ひでと）

1968年4月 トヨタ自動車販売株式会社（現トヨタ自動車株式会社）入社
1993年1月 トヨタ自動車株式会社経理部部長
1996年6月 同社財務部部長
1999年6月 同社取締役（関連事業部、経理部、財務部担当）
2000年7月 トヨタファイナンシャルサービス株式会社代表取締役社長
2008年6月 あいおい損害保険株式会社（現あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）
代表取締役会長
2011年6月 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社特別顧問
2013年6月 サンデンホールディングス株式会社社外取締役（現任）
2014年7月 SVPグローバル・アジアLLC経営諮問委員
2015年6月 水戸証券株式会社社外取締役
2018年7月 上海交大教育集団リーマンマネジメント学院学長（現任）

2020年3月11日（水）～13日（金）に東京ビッグサイトで開催される「第18回 国際オートアフターマーケットEXPO2020（IAAE）」に出展

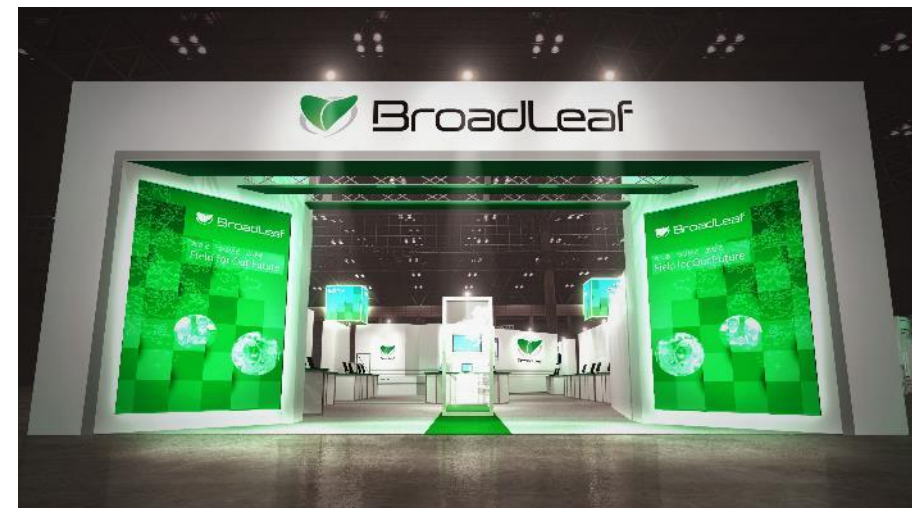
「働き方改革」「店舗改革」「生産性向上」をテーマとしたサービスを展示します。AI・クラウド技術を軸としたユーザーを支援する各種ITソリューションや各界の人気講師や著名コンサルタントを招いた、無料セミナーなども開催する予定です。

出展概要

- ・各種ITソリューション
- ・無料セミナーの開催
- ・パートナー企業の出展・セミナー（ネクストシステム社、Zenmov社等）

開催概要

名称：第18回 国際オートアフターマーケットEXPO2020
会期：2020年3月11日（水）～13日（金）
開場時間：10:00～17:00（最終日のみ16:00まで）
ブース番号：3411



2019年イメージ

Contents

1. 2019年12月期決算概要
2. 2020-21年の重点施策
3. 2020年12月期業績見通し
4. ご参考

Appendix 会社概要、売上区分など

区分			事業内容
大分類	中分類	小分類	
プラットフォーム	基本	PaaS/SaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション（月額）の提供 ・アプリケーション用データベース（自動車部品・車両・指数情報、交通機関データ、観光地データ等）の提供（月額） ・アプリケーション基本機能やミドルウェアの提供（月額または一括）
		IaaS	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの利用に必要なネットワークサーバー機能の提供
	EDI・決済	PSF	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車リサイクル部品の取引ネットワーク「パーツステーションNET」における決済代行サービスの提供
		BLP/CPT	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品の電子受発注システム「BLパーツオーダーシステム」の提供 ・自動車整備事業者等にタブレット型業務端末「CarpodTab」の提供
	サポート	保守	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の顧客向けサポート、ハードウェア保守の提供
		サプライ品	<ul style="list-style-type: none"> ・専用帳票類やOAサプライ品の販売
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客から収集、蓄積した大規模な匿名データを分析・加工して提供 他 	
アプリケーション	業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別アプリケーション（基本機能を除く）の販売 （自動車系： 整備業者、钣金業者、自動車販売業者、部品商、ガラス商、電装業者、リサイクル業者 他） （非自動車系： 機械工具商、携帯電話販売店、旅行代理店、観光バス事業者 他） 	
	OTRS	<ul style="list-style-type: none"> ・作業分析・業務最適化ソフトウェア「OTRS」の販売 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・PC本体やプリンタ等周辺機器の販売 他 	

会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部（3673） 2013年3月22日上場
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,148百万円（連結）
事業内容	独自開発のプラットフォームを起点に企業向け I T サービスを展開。 自動車アフターマーケット向けを中心に業務アプリケーションを提供するほか、プラットフォーム参加者間の取引・決済インフラや自動車関連ビッグデータ分析など、各種サービスを提供しています。また、今後のモビリティ産業の進化を見据え、先端技術の実用化に向けた調査研究を行っています。
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
営業拠点	全国 29拠点
開発拠点	全国 3拠点（札幌・東京・福岡）

免責事項

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

【お問い合わせ先】
株式会社ブロードリーフ
インベスターリレーションズ室
E-Mail : bl-ir@broadleaf.co.jp